



## 11月の園だより

平成30年11月1日

学校法人志賀学園

平第二幼稚園

うらかな小春日和が続き、園庭では元気な子どもたちの笑顔と歓声に満ち溢れています。

さて、10月31日は作品展でした。それぞれの学年の作品をご覧頂き、各学年の年齢の育ちを感じて頂けたかと思います。

さくら組は、10月15日に電車と路線バスに乗ってかみね動物園へ遠足に行つて来ました。遠足の数日前から、作品展へ向けて絵と動物を作るので、自分で絵を描いたり、作りたい動物を決めて、よく見て来るように話しました。また、事前に通過する駅の名前や日立駅まで何回駅に止まるかななどを意識させていたせいか、「いわき駅の次は内郷だよ。動物園は日立で降りるんだよ。」と話したり、駅に停まる度に、「ひとつめ、ふたつめ、みつつめ…」と数えている子などいました。

動物園では、「僕はきりんを描こう!」「私はレッサーパンダを作るの!」「フラミンゴは1本の足で立っているんだね。」「ぞうの鼻は長くて耳が大きいんだね。」と興味深く観察していました。

作品展では、一人ひとりが身近な素材を利用し、試行錯誤しながら創意工夫をしたことは勿論のこと、同じ動物を作ったお友だち同士で話し合い、「牛乳パックの柱にひもを付ければ柵になるんじゃない?」と、一人が牛乳パックを支え、一人がテープでひもを止めたりしながら、共同的な活動にもつながりました。

すみれ組さんは、毎日の遊びの中で、手作りのお店屋さんごっこを楽しんでおりましたので、話し合いの結果、1組は回転ずし屋さん、2組はパン屋さんを行うことになり、日頃の制作活動の成果をご覧いただきました。ばら組さんは、お散歩に出掛け、落ち葉やどんぐりを拾い、秋の自然物を利用して作品を仕上げ、季節感を感じ取って頂けたかと思います。

もも組さんは、大好きな「おむすびころりん」の絵本をテーマに再現しました。キッチンペーパーでおにぎりを作るにあたって、ごはんでは本物のおにぎりを作って昼食にいただき、作品作りへの意欲へとつなげました。

日々、著しいスピードで進化している現代、これからの時代で活躍する人材に育てるには、

- ① 実体験を通して本物に触れ、感性豊かな心を育む
- ② 子どもがやりたいと思った時に必要な材料や環境を提供し、アイデアを育む思考を作る
- ③ 苦心して物を創り上げる力（AIをつかさどる力）をつける

などが大切だそうです。

これからも様々な経験を通して何事にも興味・関心につながる心を育て参りたいと思います。

11月23日は勤労感謝の日。それぞれの学年で働く方々に感謝の気持ちを込めながら、施設見学に出掛けます。幼稚園では、こども園に移行するにあたり、毎日、工事に携わる方々の作業の様子も興味深く感心して見えています。子どもたちは通常とは違った環境で合同保育を行い、他のクラスのお友だちと過ごすことが出来、楽しい気持ちでにぎやかに過ごしてくれています。保護者の皆様にはご不便をおかけすることもあります、今後とも宜しくご協力くださいますようお願い致します。